

●待降節第二主日

泉のほとり

今月の詩編「第九十七編」

神に従う人よ、

主にあつて喜び祝え。

聖なる御名に感謝をささげよ。



聖書は救いに導く知恵を

使徒パウロはテモテに「あなたは、自分が幼い日から聖書に親しんできたことを知っているからです。この書物は、キリスト・イエスへの信仰を通して救いに導く知恵を、あなたに与えることができます」と語りました。

聖書の果たす役割、その目的は、人を「知恵ある者」とし、人を「救いに導く」ということです。

聖書という知恵ある人は、頭のいい人、処世術に長けている人のことではありません。「上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、親切、従順であり、あわれみと良い実に満ち、偏りがなく、偽りがなく」と教えられました。正にイエス・キリストのお姿を指し示すものです。聖書は、私たちを主イエス・キリストのお姿、神のかたちへと導こうとしているのです。

聖書が人を知恵ある者とするということですので、どのような人が聖書から答えを得るのか。知恵を求める人です。言葉を換えて言いますと、自分の知恵のなさ、愚かさ、気づく人です。自分を知恵ある者とする人に、聖書の知恵は聞こえないのです。人は自分を正しいとして生きているのですが、それは自分を知恵ある者としていることです。それゆえに、主イエスは「わたしは正しい人のためではなく、罪人を招くためにきた」と言われました。

マタイの福音書で弟子のペテロが「兄弟が罪を犯したら何度赦しましょうか」と聞きました。主イエスは「7の70倍も赦さない」とお答えくださいました。多くが「それはできない」と思うのです。人は自分を、人を赦す側に置いて物事を見ているのです。しかし、赦される側に立つて見ると、周りの隣人から、もう既に7の70倍以上赦されて、生かされていることに気付かされるのです。人は常に自らを正しい人、知恵ある者の側において、物事を見ているゆえに、神からの知恵が聞こえないのです。

それゆえに、使徒パウロは「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です」と語られました。教えら

れ、戒められ、誤りを正されることは、耳に優しいことばではありません。聖書は人を自分自身と向き合わせるのです。人の闇の業を照らすのは、人をそこから救い出すためです。

そして、自分と向き合うことなくして、いきなり「平安」があるかのようなことを、聖書は示していません。例えば、常に怒りを発し、人を裁く人、また人を赦せない心に「平安」はないのです。平安がないのは、平安を告げられた主イエスがおられないからではなく、主イエスの十字架の御業がないからでもあります。聖書が語り、戒め、十字架が示すことばに照らされる自分自身と向き合うことなくしては、授けようにも授けられない現実があるからです。

もう一つ、分かち合いたいのは、聖書は他人に向けて語られているものではないということです。「聖書はキリスト・イエスへの信仰を通して『あなた』を知恵ある者とし、『あなた』を救いへと入らせることができます」と語られました。聖書は他人を照らすのではなく、私自身に語りかけている。聖書はあくまでも「私」を知恵ある者とし、「私」を救おうとしているのです。

最後に、聖書は「すべて神の霊の導きの下に書かれた」とあります。文字通りに表しますと「神に息を吹きかけられた」状態です。現在も神の霊が吹きかけられて「ある」状態を表しているということです。聖書の御言葉は神聖なものです。読む人は、人の言葉を読むように読んではなりません。聖書の御言葉は読むものではなく、受けるものです。

聖書は神のことばです。私たちのために罪を償うさげ物として、ご自身をささげられたキリスト。その御子を与えられた天の父の霊が吹き込まれて「ある」聖書の御言葉を、その尊厳を我々の命として生きようではありませんか。その聖書の御言葉が「私」に向けられ語られているとは、なんとという光栄、幸いでしょうか。私を知恵ある者とし、救いへ導く、父からの贈り物です。その一つ一つを愛し、敬い、恐れ、感謝し、受けて生きたいと思えます。

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 礼拝後、信仰者に学ぶ会を地下ホールで行います。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

○ 運営委員会、各小委員会がそれぞれ行われます。

○ 一三日(土)午後二時から幼稚園クリスマスが礼拝堂で行われます。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《愛餐会班より》

一月二二日(日)に愛餐会を行います。
ご出席される方は、ロビーに掲示している申込表にご記入ください。本日中の対応をお願いします。

《シオンの会より》

「シオンの会特別プログラム クリスマス祝会」

一月二〇日水曜日 一〇時半から一二時頃

第二第三シオンルーム

メッセージ 吉村和雄名誉牧師

クリスマスキャロルを歌いクリスマスのお話を聞き、茶菓をいただく楽しいお交わりの会です。(茶菓代二〇〇円位をいただきます。)

オンライン (zoom) も併用しますので参加をご希望の方は川越啓子姉までお声がけください。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

（司・会）の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇九十七篇】

主こそ王。全地よ、喜び躍れ。

多くの島々よ、喜び祝え。

密雲と濃霧が主の周りに立ちこめ

正しい裁きが王座の基をなす。

火は御前を進み

周りの敵を焼き滅ぼす。

稲妻は世界を照らし出し

地はそれを見て、身もだえし

山々は蟻のように溶ける

主の御前に、全地の主の御前に。

天は主の正しさを告げ知らせ

すべての民はその栄光を仰ぎ見る。

すべて、偶像に仕える者

むなししい神々を誇りとする者は恥を受ける。

（司・会）

神々はすべて、主に向かってひれ伏す。

シオンは聞いて喜び祝い

ユタのおとめらは喜び躍る

主よ、あなたの裁きのゆえに。

あなたは主、全地に君臨されると高き神。

神々のすべてを超え、あがめられる神。

主を愛する人は悪を憎む。

主の慈しみに生きる人の魂を主は守り

神に逆らう者の手から助け出してくださる。

神に従う人のためには光を

心のまっすぐな人のためには喜びを

種蒔いてくださる。

（司・会）

神に従う人よ、主にあつて喜び祝え。

聖なる御名に感謝をささげよ。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神さまの約束は実現する」

聖書 マタイ1章18〜25節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「救い主の誕生」

聖書 ルカ2章1〜7節

説教者 宮間彰広 兄

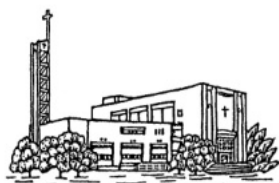
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 97番 107番

説教 「主イエスをお迎えして」

聖書 フィリピ2章1〜11節

説教者 吉村和雄 名誉牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 94番 324番
説教 「神を探し求める人に」
聖書 使徒8章26～40節(新約 P.228)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「我が魂は主をあがむ」 J.S.バッハ

○讃美歌94番

1. 久しく待ちにし 主よ とく来たりて
み民のなわめを 解き放ちたまえ
主よ 主よ み民を 救わせたまえや
2. あしたの星なる 主よ とく来たりて
お暗きこの世に み光をたまえ
主よ 主よ み民を 救わせたまえや
3. ダビデの裔なる 主よ とく来たりて
平和の花咲く 国をたてたまえ
主よ 主よ み民を 救わせたまえや
4. ちからの君なる 主よ とく来たりて
輝くみくらに とわに即き給え
主よ 主よ み民を 救わせたまえや

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「ああ 神はそのひとり子を」 M.Franck曲
ああ神はそのひとり子を
降(くだ)したもうほどに 世を愛したまえり
すべて彼を信ずる者 滅びずして
とこしなえの命を 与えられんためなり
尽きざる命を

○讃美歌324番

1. 主イエスはすくいをもとむるこの身に
ゆたけきめぐみを そそがせたまえり
いよいよわが主を 愛せしめたまえ
2. ひさしくそむきし この身をみすせず
すべてをゆるして あわれみたまえり
いよいよわが主を 愛せしめたまえ
3. みめぐみうくべき いさおしなき身を
かくまでめぐみて すくわせたまえり
いよいよわが主を 愛せしめたまえ
4. この身とたまとを ことごとささげて
とうとき御名をば ひたすら讃めつつ
いよいよわが主を 愛せしめたまえ

アーメン

聖餐曲「グリーンスリーブス」 R.ガオン・ウィリアムズ

後奏曲「城門よ、頭を上げよ」 F.リッター